

みんなでスポーツを！

Sports 福島 Fukushima

第16号
2006.12

第61回国民体育大会福島県選手団



陸上



ウエイトリフティング



自転車

情報と感動の共有



財団法人福島県体育協会副会長
宗形守敏

情報化社会と言われる昨今、世の中はコンピュータを介し、政治・経済のみならず日常生活においても、多くの情報を共有できるようになりました。デジタル化された通信網の著しい発達のおかげで、日本国内はもとより世界中の人々との情報交換と共有を容易なものとしています。その半面情報が氾濫し、我々の身の回りに渦巻き、誤解や混乱が生じる弊害にも眼を向けなければなりません。やはり顔を合わせ、言葉を交わすことで、本質的な信頼関係が構築されるのではないかと思います。

さて、スポーツにおいてはどうか。スポーツの情報は日々わたしたちを感動の世界に導いてくれています。スポーツに関して言及すれば、情報化に臆することなくそれを歓迎し、気軽に接し、親しむ事が大切です。スポーツにおける「情報の共有」は、ただそのみならず「感動の共有」になり、わたしたちの生活に多くの活力と潤いを与えてくれるでしょう。

世界に目を向けると、90年代以降ヨーロッパ各国では失業問題が深刻になりました。その中で、雇用情勢において東西格差が以前課題として残るドイツでは、3人に1人がスポーツクラブのメンバーとして活動し、家庭・職場・学校のみならず地域に根ざしたスポーツクラブへの帰属意識が定着しております。さらに、スポーツに携わることで生活の安定と、スポーツ関連事業において就職率の向上に繋がっているのが現状です。このことから、スポーツの持つ可能性は非常に大きいといえます。

本県スポーツの発展において、多大なる貢献を果たしてきた企業スポーツの存在があります。しかし近年の不況の

煽りを受ける中、大企業である日産自動車は、その経営者であるカルロス・ゴーンの指針により、野球・卓球・陸上競技、そして地域に根ざしたクラブ作りを推進する「リーグ・サッカーチームへのサポートを継続し、日産自動車のブランドイメージを体現する広告塔として、たくさんのスポーツファンを魅了しています。企業のスポーツ活動を絶やすことなく、話題を提供し続ける姿勢からも、社会におけるスポーツの重要性を認識しているといえます。本県においても景気の上昇に伴い、再び企業スポーツの活性化に繋がっていかばと、県体育協会副会長として、そして一企業に携わる立場として尽力していきたいところです。

第19回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレク鳥取2006」では10月21日から24日までの4日間、18競技にわたり、本県選手団総勢168名が参加しました。真剣に競技に取り組む中、時折笑顔がこぼれ、そして交流を深める場面を拝見することができました。選手団団長として、改めて監督、選手の皆様に感謝申し上げます。生涯を通じてスポーツに親しみ、全国のスポーツ愛好者が顔を合わせ、互いに労いの言葉を交わす姿には、清々しさと力強さを感じることができました。

スポーツを通して広い視野を養う事が、人間としての幅を拓けていく事になるのではないのでしょうか。スポーツと人間性、その身につけ方には共通性があるのかと思います。そう考えて、常に挑戦し続ける姿勢を大切にしながら、日々を楽しく豊かにしていくよう心がけたいものです。個々の実践が、本県スポーツのさらなる振興に繋がることを願ってやみません。

も く じ

ページ	ページ
1 活躍する福島県選手	13 体育施設とスポーツ教室の紹介 「21世紀の森公園」
2 巻頭言	14 みんなでつくろう総合型！ 総合型地域スポーツクラブ「泉クラブ」
3 第61回国民体育大会成績	15 「スポーツと健康」ワンポイント講座
10 「うつくしまスポーツ月間」 ～位置について！ヨーイ！スポーツ！～ 実施報告	INFORMATION
12 スポレク鳥取2006大会報告 平成18年度第1回福島県スポーツ指導者研修会実施報告 「ジュニア期のスポーツ指導」から	16 平成18年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿 編集後記
13 ニュースポーツ種目の紹介 「スポーツ吹矢」	

表紙：福島県選手団の入場行進（団長：平出孝朗 旗手：渡辺 豊）《写真提供：福島民友新聞社》
陸上 成年女子400mで優勝した丹野麻美（福島大学）《写真提供：福島民友新聞社》
ウエイトリフティング 少年男子69kg級スナッチ6位、ジャーク3位の八巻 靖（相馬農業高校3年）《写真提供：福島民友新聞社》
自転車 少年男子ポイントレース優勝の窪木一茂（学法石川高校2年）《写真提供：福島民報社》

第61回国民体育大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団長	参加競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケートアイスホッケー競技会	平成18年1月28日(土) ～2月1日(水)	北海道苫小牧市	山口 勇	2	14	6	36	56
	スキー競技会	平成18年2月19日(日) ～2月22日(水)	群馬県片品村	浅川 静英	1	13	6 (14)	51	70 (14)
本大会		平成18年9月30日(土) ～10月10日(火)	兵庫県神戸市 他	平出 孝朗	34	23	70 (70)	372 (19)	465 (89)

1 派遣人数の()は競技団体派遣者で外数 2 監督のうち9名は選手兼任

2 競技成績

大会	区分	天皇杯				皇后杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順位	競技得点	参加得点	得点合計	順位
冬季大会		16.0点	30点	46.0点	28位	5.0点	20点	25.0点	24位
	スケート競技会	13.0点	10点	23.0点	21位	5.0点	10点	15.0点	21位
	アイスホッケー競技会	0.0点	10点	10.0点	14位	-	-	-	
	スキー競技会	3.0点	10点	13.0点	20位	0.0点	10点	10.0点	16位
本大会		484.5点	370点	854.5点	23位	139.0点	280点	419.0点	32位
合計		500.5点	400点	900.5点	26位	144.0点	300点	444.0点	31位



開会式直前の現地結団式



陸上少年男子B200mで優勝した
田嶋 和也(白河旭高校1年)
《写真提供：福島民報社》

3 冬季大会入賞者一覧

スケ-ト競技 競技得点13.0点 天皇杯21位・皇后杯21位						
種別	種目		順位	得点	選手名	所属
スピード	成年男子	500m	6	3	野内俊吾	日本体育大学3年
	少年男子	5,000m	6	3	佐藤健司	郡山北工業高校3年
	少年男子	10,000m	8	1	佐藤健司	郡山北工業高校3年
ショートトラック	成年男子	500m	8	1	瀬谷和三	山梨学院大学3年
	少年女子	1,000m	4	5	渡辺唯	郡山商業高校2年

スキー競技 競技得点3.0点 天皇杯20位・皇后杯16位						
種別	種目		順位	得点	選手名	所属
成年男子	C ジャイアントスラローム		6	3	木村邦裕	渡部産業(株)

4 本大会入賞者一覧

陸上競技 競技得点68.0点 天皇杯12位・皇后杯14位						
種別	種目		順位	得点	選手名	所属
成年男子	3000m S C		2	7	菊池敦郎	順天堂大学1年
	4000m H		5	4	秋本真吾	国際武道大学大学院2年
	1500m		2	7	村上康則	富士通
	やり投げ		5	4	山田啓太	筑波大学1年
成年女子	800m		2	7	吉田真希子	ナチュリル
	400m		1	8	丹野麻美	福島大学3年
少年男子	A 5000m		5	4	岡本尚文	田村高校2年
	A やり投げ		6	3	金子佑太郎	会津高校2年
	A 走高跳		7	2	佐藤庸平	白河旭高校3年
	B 200m		1	8	田嶋和也	白河旭高校1年
少年女子	A 1500m		3	6	橋本富美子	いわき総合高校3年
	A 円盤投		8	1	瀬谷智美	学法石川高校3年
	共3000m		6	3	齋藤梓乃	田村高校3年
成年少年女子	4 x 100m R		5	4	正木友佳子	鏡石中学校3年
					松本真理子	福島第三中学校教員
					川口夢加	福島東高校3年
					丹野麻美	福島大学3年



ボクシング少年男子ウェルター級優勝の高田大将（福島明成高校3年）

《写真提供：福島民報社》



競泳少年女子A200m個人メドレー優勝した加藤和（桜の聖母学院高校2年）

《写真提供：福島民報社》

水泳競技 競技得点35.0点 天皇杯17位・皇后杯17位						
種別	種目	順位	得点	選手名	所属	
成年男子	30歳以上50m背泳ぎ	6	3	三浦俊樹	県都市公園・緑化協会	
	100m背泳ぎ	2	7	山口雅文	中央大学4年	
少年女子	A200m個人メドレー	1	8	加藤和	桜の聖母学院高校2年	
	B100m自由形	2	7	高橋恵美	松陽中学校3年	
女子混合	混合女子200mリレー	8	1	佐々木加奈恵	東京女子体育大学4年	
				櫛田麻衣	橘高校3年	
				小松あき	安積高校2年	
				高橋恵美	松陽中学校3年	
少年男子	高飛込	8	1	伏見悠太	日大東北高校1年	
成年男子	飛板飛込	4	5	西川友章	清陵情報高校教員	
	高飛込	6	3	江川克彦	日本体育大学2年	

テニス競技 競技得点24.0点 天皇杯4位・皇后杯3位						
種別	種目	順位	得点	選手名	所属	
成年女子		1	24	田口景子 勝見志津	(財)福島県体育協会 郡山テニスクラブ	

ボート競技 競技得点5.0点 天皇杯29位・皇后杯16位						
種別	種目	順位	得点	選手名	所属	
少年女子	舵手付きクォドルプル	8	5	(監)五十嵐誠	西会津高校教員	
				五十嵐美穂	西会津高校3年	
				三橋諒子	喜多方高校3年	
				薄結衣	西会津高校3年	
				三留加奈	西会津高校2年	
				物江麻美	喜多方東高校3年	
				矢部光彩	西会津高校3年	

ボクシング競技 競技得点42.5点 天皇杯3位						
種別	種目	順位	得点	選手名	所属	
成年男子	フライ級	5	2.5	齋藤大	法政大学3年	
	ライトウェルター級	5	2.5	遠藤広大	平成国際大学4年	
	バンタム級	1	8	須佐勝明	東洋大学4年	
	ウェルター級	2	7	佐藤矩彰	法政大学4年	
少年男子	バンタム級	5	2.5	伊藤悠樹	福島明成高校3年	
	フェザー級	5	2.5	草野隼人	磐城第二高校3年	
	ライトウェルター級	5	2.5	角田貴佳	会津工業高校3年	
	ライトフライ級	2	7	片山聡一郎	磐城第二高校2年	
	ウェルター級	1	8	高田大将	福島明成高校3年	

レスリング競技 競技得点13.0点 天皇杯36位						
種別	種目	順位	得点	選手名		所属
成年男子	フリー60kg級	5	2.5	清	水 聖志人	クリナップ(株)
	グレコ74kg級	5	2.5	渡	部 高康	東京農業大学3年
少年男子	グレコ74kg級	5	2.5	渡	部 友章	田島高校3年
	グレコ96kg級	3	5.5	福	田 広樹	田島高校2年

セーリング競技 競技得点4.0点 天皇杯26位・皇后杯23位						
種別	種目	順位	得点	選手名		所属
成年男子	国体シングルハンダー級	5	4	高	橋 航	鹿屋体育大学大学院

ウエイトリフティング競技 競技得点22.0点 天皇杯24位						
種別	種目	順位	得点	選手名		所属
成年男子	53kg級スナッチ	7	2	佐	久間 勝彦	ゼピオ(株)
少年男子	69kg級スナッチ	6	3	八	巻 靖	相馬農業高校3年
	69kg級ジャーク	3	6	八	巻 靖	相馬農業高校3年
	105kg級スナッチ	7	2	油	座 優太	勿来工業高校3年
	105kg級ジャーク	7	2	油	座 優太	勿来工業高校3年
	+105kg級スナッチ	4	5	堀	込 和宏	相馬農業高校3年
	+105kg級ジャーク	7	2	堀	込 和宏	相馬農業高校3年

自転車競技 競技得点48.0点 天皇杯1位						
種別	種目	順位	得点	選手名		所属
成年男子	1kmタイム・トライアル	1	8	我	妻 敏	日本大学1年
少年男子	ロードレース	7	2	須	永 優太	白河実業高校3年
	1kmタイム・トライアル	5	4	関	根 彰人	学法石川高校3年
	エリミネーション・レース	6	3	大	島 将人	白河実業高校3年
	4km速度競走	7	2	須	永 優太	白河実業高校3年
	ポイントレース	1	8	窪	木 一茂	学法石川高校2年
男子	4km団体追抜競走	2	21	我	妻 敏	日本大学1年
				小	豆 畑 郁也	日本大学3年
				明	珍 多久雄	日本大学
				須	永 優太	白河実業高校3年

馬術競技 競技得点18.0点 天皇杯14位・皇后杯11位						
種別	種目	順位	得点	選手名		所属
成年女子	二段障害飛越	4	5	高	橋 かほる	オーベルジュ鈴鐘
少年	二段障害飛越	7	2	中	村 彩希	福島東陵高校3年
	スピードアンドハンディネス	3	6	吉	田 学人	双葉高校2年
	標準障害飛越	5	4	吉	田 賢人	双葉高校2年
	リレー競技	8	1	吉	田 学人	双葉高校2年
				吉	田 賢人	双葉高校2年



自転車成年男子1kmタイムトライアル優勝の
我妻 敏（日本大学）

《写真提供：福島民友新聞社》



テニス成年女子3連覇を達成した
田口 景子（県体育協会）・勝見

志津（郡山テニスクラブ）
《写真提供：福島民友新聞社》

フェンシング競技 競技得点12.0点 天皇杯18位						
種別	種目	順位	得点	選手名	所属	
成年男子	サーブル	5	12	(監) 今野 勝 菊地 卓哉 田代 大幸 高木 芳健	川 俣 ホ ー ム ソフトバンクBB (株)ワールドインダストリー-福島工場 福 島 ク ラ ブ	

ソフトボール競技 競技得点20.0点 天皇杯16位						
種別	種目	順位	得点	選手名	所属	
成年男子		5	20	福島県 (監) 旗野 一 典 相 場 正 伸 佐 藤 真 一 齋 藤 誠 小 宅 潤 大河原 健 一 大 谷 直 人 菅 野 崇 宍 戸 金 光 内 田 秀 文 菅 野 真 教 寺 島 一 宏 大河原 維 章 大 森 史 仁 柳 沼 孝 志 佐 藤 正 樹	エプソントヨコム 福島北高校教員 郡山第七中学校教員 (医) 崇敬会桜美苑 日本化成(株) (株)いわき中水 自衛隊福島地方協力本部白河地域事務所連絡部 (有)岡田屋製麺 山木屋中学校教員 (有) 秀 倫 エプソントヨコム 新地町役場 自 営 郡山北工業高校教員 日本体育大学4年 松下電器産業(株)	

弓道競技 競技得点42.0点 天皇杯8位・皇后杯14位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
少年男子	遠的	5	12	福島県	
	近的	3	18	(監) 強 口 徹 雄 木 村 泰 悠 高 梨 龍之介 樽 井 辰 弥	平工業高校教員 福島商業高校3年 会津学鳳高校3年 小野高校3年
少年女子	遠的	5	12	福島県 (監) 千 葉 聡 鷲 愛佑美 折 笠 有 希 齋 藤 江里香	福島商業高校教員 湯本高校3年 安積高校3年 郡山高校3年

山岳競技 競技得点21.0点 天皇杯19位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	縦走	2	21	福島県 (監) 菅 野 富 寿 眞 舩 孝 道 渡 邊 豊 佐々木 亮 介	南蓬萊ひだまり治療院 福島学院大学職員 福島陸上自衛隊 川上商店

カヌー競技 競技得点44.0点 天皇杯13位・皇后杯17位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	500m K - 1	4	5	佐 藤 滋	丸 や 運 送
	スラローム25G	8	1	関 根 正	向 日 葵
成年女子	500m F K - 1	4	5	久 野 綾 香	久 野 製 作 所
	200m F K - 1	5	4	久 野 綾 香	久 野 製 作 所
少年男子	500m J K - 1	6	3	和 田 恭 平	二本松工業高校3年
	500m J C - 2	8	3	國 嶋 諭	安達高校3年
				根 本 孝 幸	安達高校3年
	200m J K - 1	4	5	和 田 恭 平	二本松工業高校3年
少年男子	200m J C - 2	5	12	國 嶋 諭	安達高校3年
				根 本 孝 幸	安達高校3年
女子	ワイルドウォーター1500m	3	6	和 田 藍 加	福島医療専門学校

銃剣道競技 競技得点12.0点 天皇杯9位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子		5	12	(監) 田 村 大 吉 齋 藤 慎 一 中 島 克 直 佐 藤 亨	第6高射特科大隊 第44普通科連隊 第6特科連隊 福島県赤十字血液センター

なぎなた競技 競技得点3.0点 天皇杯18位・皇后杯18位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年女子	演技競技	8	3	(監) 吉田裕子 松村ちひろ 菅原比呂美 武藤小夜子	福島県養護教育センター 日本体育大学2年 (財)福島市振興公社 小高商業高校教員

ボウリング競技 競技得点51.0点 天皇杯6位・皇后杯5位					
種別	種目	順位	得点	選手名	所属
成年男子	団体戦	2	21	(監) 垣内泰 伊藤丈 小野昌弘 五十嵐正一 中田明	菅野建設(株) (株)東北装美 東北電力(株)福島技術センター (有)あやめ美容院 福浜大一建設(株)
成年女子	個人戦	2	7	鈴木英子	日立製作所オートモティブシステム
少年女子	個人戦	1	8	竹俣茉耶	会津ザベリオ学園2年
	団体戦	4	15	(監) 遠藤嘉幸 竹俣茉耶 蓬田桃子	(株)宮川商事 会津ザベリオ学園2年 郡山商業高校3年



ボウリング少年女子優勝の
竹俣 茉耶(会津若松ザベリオ学園高校2年)
《写真提供: 福島民友新聞社》



カヌーワイルドウォーター成年女子1500m 3位の
和田 藍加(福島医療専門学校)
《写真提供: 福島民友新聞社》



山岳成年男子縦走2位の
眞船 孝道(福島学院大学職員)
渡邊 豊(福島自衛隊)
《写真提供: 福島民報社》

「うつくしまスポーツ月間」

～位置について！ヨイ！スポーツ！～

実施報告

今年度は、県体育協会とうつくしま広域スポーツセンターと連携し、さらに福島県教育委員会の後援を得て、10月を「うつくしまスポーツ月間」と位置づけました。

スポーツ実践の機会を提供し、スポーツ実施への意欲を喚起することが趣旨となる月間中、多くのイベントを企画し、すべての県民の皆さんがスポーツに親しみ、豊かで活力ある生活を送ることができる生涯スポーツ社会を実現するため、広報・啓発活動を展開しました。

次年度以降も「うつくしまスポーツ月間」を推進し、定着させたいと思っておりますので、これを機により一層スポーツを楽しんでいただければと思います。



生涯スポーツキャンペーン事業 スポーツ講演会

アテネオリンピックアーチェリー競技
銀メダリスト

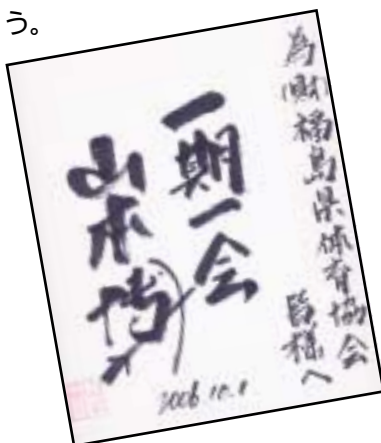
山本 博 氏による 講演会を開催！



うつくしまスポーツ月間のオープニングイベントとして、田村市文化センターにアテネオリンピックのアーチェリー競技銀メダリスト、山本 博 氏をお招きし、「自己対話の活用術」という演題でご講演をいただきました。

孤独な闘いを強いられるアーチェリーという個人競技。それを勝ち抜くため、試行錯誤の結果生み出した“自己対話”。逆境のなかで「自分と会話することは、良い方向に自分を導くための作業」とのこと。そんな第一線で活躍し続けるトップアスリート山本 博 氏が、どのようにメンタル面を鍛え上げていったのか、ユーモアを交え、そして情熱を込めての1時間30分となりました。

人との出会いを大切にする山本先生に頂いた色紙には「一期一会」の文字が。会場に足を運んだ観客の方々も、その人柄に惹かれ、そして話に聞き入っていました。これからも日本を代表する「中年の星」として、そしてトップアスリートとして「生涯現役」で活躍し、夢と希望を持つことの大切さを発信し続けてくださることでしょう。



略歴（2006年現在）

- 日本体育大学
女子短期大学部 助教授
アーチェリー
世界ランキング1位
- 【部活動 指導実績】
(アーチェリー部顧問)
関東大会男女優勝
全国高等学校総合体育大会
・インターハイ 女子団体優勝





ふくしまスポーツフェスタ2006inたむら

(兼 第26回福島県レクリエーション大会)

「ふくしまスポーツフェスタ」は、広く県民の皆さまに様々なスポーツ・レクリエーション活動を体験していただき、健康で明るく潤いのある生活の実現に向けて開催しています。県体育協会が毎年開催していた生涯スポーツキャンペーンイベントは体験ひろばとタイアップし、10月1日に三春町民体育館にて開催しました。さらに、うつくしまスポーツ月間中には26種目を田村市・三春町・小野町・郡山市・須賀川市の各公共施設を会場に、たくさんの方に参加していただきました。

来年は相双地区で開催予定です。みなさん、楽しみにしてください。

体験ひろば	競技・実践種目	
チャレンジ・ザ・ゲーム	インディアカ	ラージボール卓球
ベタンク	バドミントン	スポーツ吹矢
ディスゲッター	綱引	フォークダンス
クロリティー	ターゲット・バードゴルフ	武術太極拳
ダーツ	オリエンテーリング	レクリエーションダンス
アイーダアイダ	ソフトバレーボール	キャンプ
クラフトコーナー	グラウンド・ゴルフ	健康ウォーキング
一輪車	ベタンク	日本舞踊
カロリング	ディスクゴルフ	社交ダンス
トスパッティング	チェックボール	ヘルス体操&ダンス
スポーツチャンバラ	キンボール	パークゴルフ
ディスクゴルフ	木球	3B体操
	バウンドテニス	



うつくしまスポーツクラブまつりinおおくま

うつくしま広域スポーツセンターでは、10月のうつくしまスポーツ月間中、28日・29日に「スポーツクラブまつりinおおくま」を開催しました。

「クラブ交流イベント」「クラブ活動発表会」には16クラブから約200名の参加、「フォトコンテスト」には17クラブから29点の応募がありました。

「クラブ交流イベント」ではクラブの枠を越えたチーム編成でソフトバレーボール大会を行い、さわやかな汗を流し交流を深めることができました。参加者からは、「はじめは知らない人と一緒なのが心配だったけど、やってみたらものすごく楽しかった！もっといろいろな人とも交流したかった。」という声も寄せられました。

また、NPO法人MIPSスポーツプロジェクトとの共同により「スポーツゲームズinふくしま」が開催されました。メインとなった29日には、「スポーツクリニック」など5つの講座に、約500名が参加しました。参加した小中学生は、それぞれの種目のトップアスリートからの指導に熱心に聞き入っていました。

2日間に渡って開催された「スポーツクラブまつりinおおくま」でしたが、多くの皆さんにスポーツに親しんでいただくことができ、総合型クラブの可能性をも示唆する取り組みとなりました。今後も、さらに多くの皆さんにスポーツを普及していく取り組みに努めます。



クラブ活動発表会

- “ならはスポーツクラブ”
- “NPO法人あづまスポーツクラブ”
- “NPO法人さくらスポーツクラブ”





今年で第19回を迎えた生涯スポーツ最大の大会「全国スポーツ・レクリエーション祭」に、約1万人もの参加者が鳥取県に集いました。

「ふれ愛の 砂丘の風に 光る汗」というスローガンのもと、平成18年10月21日～24日までの4日間、本県からも168名の選手団が参加し、鳥取市・倉吉市・米子市の3会場で行われた開会式に臨んだのち、それぞれの種目開催地で各都道府県の選手との交流試合を楽しみました。

来年は本州最北端、青森県での開催となります。また多くの笑顔に会えることを、楽しみにしています！



壮年サッカー(鳥取市)



女子ソフトボール(米子市)



グラウンド・ゴルフ(湯梨浜町)



年齢別ソフトテニス(米子市)



マスターズ陸上(鳥取市)



男女混合綱引(岩美町)

県選手団派遣種目

グラウンド・ゴルフ	年齢別ソフトテニス
ゲートボール	バウンドテニス
壮年サッカー	年齢別バドミントン
ソフトバレーボール	壮年ボウリング
ソフトボール	マスターズ陸上競技
ラージボール卓球	インディアカ
ターゲット・バードゴルフ	エアロビック
男女混合綱引	フォークダンス
年齢別テニス	トランポリン

平成18年度第1回福島県スポーツ指導者研修会実施報告

「ジュニア期のスポーツ指導」から

本年度最初の研修会は、公認スポーツ指導者の義務研修として10月15日(日)、田村市船引町公民館にて開催しました。本研修会では、「ジュニア期のスポーツ指導」をテーマとした講義と、総合型地域スポーツクラブについての研究協議が行われました。



中澤 謙 氏(県立会津大学講師)による講演「ジュニア期の発育・発達に添ったスポーツ指導のありかた」では、具体的な数値や事例を交え、大変内容の濃い説明をしていただきました。

プレゴールデンエイジ(3・4歳～8・9歳)について	興味あることに夢中になる	基本動作を楽しく行う
テーマを絞って練習する	楽しんでいること、自主性を大切に	
ゴールデンエイジ(9～12歳)について	競争心が旺盛になってくる	基本の必要性を理解させる
「技術」を大切に		13歳以降クラムジー(上達停滞期)に

吉田 仁郎 氏(ARCクリニックよしだ整形外科院長)による講義・実技「ジュニア期におけるスポーツ指導の留意点」では、以下の説明をいただきました。

1. 身体特徴の把握が重要なわけ
突然死を防ぐ スポーツ障がい予防
2. 身体特徴を把握する方法
全身関節弛緩 バランス感覚 体を支える筋肉 各チェック
3. スポーツをするための体作りトレーニング
パワー バランス 柔軟性



「スポーツ吹矢」

日本スポーツ吹矢協会
福島県総支部長 國分 強

スポーツ吹矢は、1988年（平成10年）4月に東京銀座で産声をあげました。現在、会長（青柳清）以下約9,400名の会員があり、全国で216の支部、福島県内には14の支部があります。スポーツ吹矢ができたきっかけは、青柳会長が中国で気孔を学んだ折り、これを活用したスポーツはないかと考えた矢先、ある人から吹矢を紹介され色々研究をされた結果、試行錯誤を繰り返し、腹式呼吸による現在の「スポーツ吹矢」を考案されました。



スポーツ吹矢は、吹矢型の基本動作により3分間に5本の矢を8m先の的をめがけて吹きます。これを4ラウンド行い、得点が最も高い人が優勝です。



全国大会は毎年春・秋の2回実施され、また福島県では県大会を毎年開催しており、今年は第7回大会を浜通りの富岡町で開催し、県内の会員200名が集まり大変盛り上がった大会となりました。スポーツ吹矢の良い点は何と言っても健康に良いスポーツであることです。一例をあげますと、吹矢に取り組んで喘息が緩和された、腰痛が改善されたというお話を数多く聞くたび、吹き矢の基本である腹式呼吸が身体に良いことが実証されているわけです。是非、皆さんもスポーツ吹矢に取り組まれてはいかがでしょうか。

問い合わせ先

日本スポーツ吹矢協会・福島県総支部

國分 強

〒969-3471 会津若松市河東町広田字東28

電話&FAX 0242-75-5089

体育施設とスポーツ教室の紹介

「21世紀の森公園」

春には菜の花、秋にはコスモスなど四季折々の花々が咲き、緑豊かな自然を体感できる21世紀の森公園は、いわき市のほぼ中央に位置し、各種スポーツ、レクリエーションが楽しめる、面積89.2haの総合公園です。

主なスポーツ施設としては、プロ野球の観戦ができる3万人を収容する「いわきグリーンスタジアム」や、ラグビー・サッカー・アメリカンフットボールなどに利用でき、メインスタンドを備えた5,600人が収容できる「いわきグリーンフィールド」があります。

さらに、テニスコートが4面あり、園路では散歩やジョギングを楽しむ姿が数多く見られ、木漏れ日の中一年を通じて、スポーツに親しむことができます。

このほか、コミュニティ広場には、芝生広場やお子様も楽しく遊べる遊具施設が数多く配置されていて、大きな青空のもと、週末や休日にはたくさんの親子連れで賑わいます。

ぜひ、みなさん、スポーツはもちろんのこと、家族や友人との憩いの場として、バリエーションゆたかなくつろぎとリフレッシュの公園、21世紀の森公園にお越しください。

グリーンスタジアム



グリーンフィールド



アクセスマップ



コミュニティ広場



問い合わせ先

財団法人 いわき市公園緑地観光公社

TEL0246-43-0033 FAX0246-43-1401

総合型地域スポーツクラブ



泉クラブ

【問い合わせ先】

事務局 〒971-8182
いわき市泉町字高見坪2-2
TEL 0246-96-6235
FAX 0246-56-0766



総合型地域スポーツクラブ 泉クラブ
会長 坂本満恵

私たちは、泉陸上スポーツ少年団を母体として総合型地域スポーツクラブ「泉クラブ」を結成し、子どもたちにスポーツ・運動、遊ぶことの楽しさを体験できる場を提供し、明るく元気な子どもたちを育て、さらには地域にも活動を広げ、コミュニティの活性化を図りながらスポーツによる活力のある地域を作りたいと考えています。

スポーツが大好きな方は勿論のこと、身体を動かす機会が少ない、運動の方法が分からない、スポーツが苦手だと思っている方々にとっても親しむことができるよう、様々な教室やイベントを催し、スポーツの輪を広げることを目指していきます。



活動プログラム



浜っ子運動クラブ

対象 幼児・小学生
場所 渡辺小学校 体育館
曜日 第2・3・4火曜日
時間 16:15~17:30



楽しいです！ダンスとトランポリンがおもしろくて好きです。いろんな学校の人と友達になれてうれしいです。



テニス教室

対象 小学生~成人
場所 小名浜武道館・港運動公園
曜日 月2回
時間 13:00~15:00
19:00~21:00



テニスは下手でも体を動かすのは楽しいです。



トランポリン教室

対象 幼児・小学生
場所 渡辺小学校 体育館
曜日 毎週 月曜日
時間 16:15~17:30



始めたきっかけは、トランポリンが楽しかったからです。体を動かすのが大好きで、これからも続けていきたいです。



バドミントン教室

対象 小学生~成人
場所 小名浜武道館
曜日 第2・4火曜日
時間 19:00~21:00



永井先生によるバドミントンの基本と本多コーチの熱きご指導により今まで分からなかったことが身についたと思います。



陸上教室

対象 小学生
場所 泉北小・泉小
曜日 週3回 月・木・土曜日
時間 16:00~17:30



みんなと一緒に走るのが楽しいです。監督も楽しいし、これからも続けたいです。



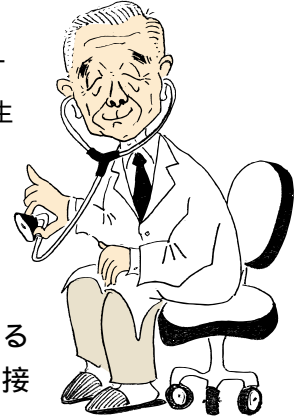
ゴルフ教室

対象 小学生~成人
場所 レインボーゴルフクリニック
曜日 毎週水曜日
時間 19:00~21:00



講師の先生の丁寧な指導で、ゴルフがぐんぐん上達しました！

その他、【陸上交流大会】【グラウンド・ゴルフ交流大会】など行っております。



「スポーツと健康」ワンポイント講座

～スポーツマッサージについて～

昔から「おてあて」という言葉があります。あたたかい手で触られると気持ちが良いものです。この皮膚感覚を刺激することで反射神経を間接的に刺激することと、直接筋肉などを刺激することで人体の機能を促進、活発化させることがスポーツマッサージです。

マッサージの目的は運動能力を高めるため、運動の準備のため、また一般に行われている回復のための三点があります。方法としては、さする、圧迫する、疲れた手や足に振動をあたえるなどの各種の方法があります。また身体の各部位によってマッサージを受ける姿勢、方法が異なります。専属のトレーナーがいつもいるチームは限られています。どうしても監督やマネージャー、選手同士で助け合ってマッサージすることが大切です。ただし、熱があるとき、怪我をした直後、お酒をのんだ時、食後一時間以内にはマッサージを行ってはいけません。

基本にのっとり正しいマッサージはスポーツ選手の筋肉や関節などの疲労を解消し、また神経や筋肉の興奮を高めたり、逆に冷静にしたりします。マッサージはスポーツ選手の能力を高め、テクニックや体力向上、傷害の防止にも役立ちます。マッサージはスポーツに不可欠なものであることを認識しましょう。

INFORMATION

HOTNET

「HOTNET」は
福島県のスポーツを応援するホームページです。

<http://www.sports-fukushima.or.jp>

E-mail: info@sports-fukushima.or.jp



(財)福島県体育協会
福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館

"スポーツなんでも相談"

本協会では、スポーツ医事・トレーニング相談事業の一つとして、スポーツ愛好家や選手のけが、病気、栄養について、また体力や種目の特性に応じたトレーニング方法についてなど、スポーツに関する無料相談を受け付けています。

下記の方法でお問い合わせください。

- 1 電話によるご相談 TEL 024 - 521 - 7896
- 2 FAXによるご相談 FAX 024 - 521 - 7971
- 3 メールによるご相談 E-mail info@sports-fukushima.or.jp

(財)日体協公認スポーツ指導者義務研修会のお知らせ

財団法人日本体育協会が公認するスポーツ指導員は、その資格を更新するために4年に最低一度、義務研修を受けなければなりません。本県でも例年、研修会を開催しており、本年度は残り一回となりました。

次回の研修会の予定は下記の通りです。

第2回福島県スポーツ指導者研修会

期 日 平成19年 2月4日(日) 会 場 いわきゆったり館 (いわきブロック)

スポーツ安全保険

スポーツ・文化・ボランティア活動に最適な保険です。
5名以上でご加入下さい。

お問い合わせ

(財)スポーツ安全協会福島県支部
☎024-526-4600

平成18年度福島県県民スポーツ振興協力会員名簿

～ 私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

法人・団体の部(加入順)

福島県商工会連合会	(株) ヲラロススポーツ	福島県信用組合協会	福島県信用金庫協会
福島県信用保証協会	(有) 吾妻印刷	(株) ヨシ製作所	福島県旅館ホテル生活衛生同業組合
キング印刷(株)	(株) 福島民報社	福島民友新聞(株)	東亜道路工業(株) 福島営業所
福島県議会スポーツ振興議員連盟	磐城通運(株)	合資会社「東館」	福島テレビ(株)
東信建設(株)	佐藤工業(株)	福島交通(株)	(株) アルティア橋本福島工場
(株) 東北装美	ゼビオ(株)	(株) 環境部分析研究所	(株) 古瀧
(株) モリヨシ技研	花春酒造(株)	福島県ゴルフ連盟	(株) ワエディングエルティ
呉羽環境(株)	関場建設(株)	新田産業(株)	(有) 番場産業
東北建設(株)	(株) ヌらい	東開クレテック(株)	庄司建設工業(株)
富岡町体育協会	福島県中央商工振興協同組合	大和自動車交通(株)	原町港湾運送(株)
福島日産自動車(株)	福島県建設業協会双葉支部	福島トヨタ自動車(株)	タニコー(株)
(株) 福島中央テレビ	楢葉町体育協会	クリナップ(株) いわき事業所	東京電力(株) 福島事務所
(株) アク	東北電力(株) 福島支店	山木工業(株)	(株) 山川印刷所
(株) 民報印刷	小名浜製錬(株) 小名浜製錬所	(株) ヲレハいわき工場	福浜大一建設(株)
(株) 加地和組	クレハ建設(株)	福島運送(株)	錦興業(株)
(株) 福島テレビエンタープライズ	(株) 渡辺組	(株) 日進堂印刷所	堀江工業(株)
トップソアー(株) 福島支店	大塚製薬(株) 郡山出張所	陽光社印刷(株)	名木製帽店
(株) 松崎	(株) 海老名建設	(株) 高橋建設	江花建設(株)
福島ガス(株)	(株) ダイユーエイト	(株) ヤクルト本社福島工場	寿建設(株)
福島ヤクルト販売(株)	六陽印刷(株)	タカラ印刷(株)	タナカ(株) 情報ビジネス福島営業所
(有) エンドースクリーン	(株) NIPPOコーポレーション福島支店	ふくしまスポーツネットワーク	北斗印刷(株)
オノアスポーツ(株)	名鉄観光サービス(株)	スポーツニッポン新聞社福島支局	(株) レオック東北
(学) 新潟総合学院FSG専門学校グループ	(株) 日産サティオ福島	(株) ヲヨタレンタリース福島	(株) テレビユー福島
(株) 福島放送	県高等学校体育連盟	ヤマハ発動機(株) プール事業部東北営業所	福島観光自動車(株)
トーアエイヨー(株)	アルパイン(株)	白河信用金庫	ムネカク(株)
福島県商工信用組合	福島信用金庫	福島銀行	(株) プリテックス
福島トペット(株)	(株) 大盛堂印刷所	福島高校バレーボールOB会	

個人の部(加入順)

片平 俊夫	菅野 正行	下山田好宏	北村 孝男	本宿 尚	結城 勝夫	佐藤 十次	内藤 繁
斎藤 久男	吉田 政勝	林 幸夫	朽木 耕作	岩本 忠夫	佐藤 昌志	前田 長	五十嵐源一郎
矢内 哲郎	本田 俊教	花井 宣明	星 光一	三瓶 昌久	国井 裕一	長岐 博	岩田 徹
伏見 俊哉	鈴木 浩一	服部 啓吉	吉田 伸一	穴戸 正幸	鈴木 義祐	佐藤 讓敬	橋 和彦
七宮 成夫	遠藤 均	福本 隆	上竹 毅	荒川 信郎	渡辺 知幸	渡辺 正仁	伊藤 隆司
真田 実	小椋 裕	滝田 勝彦	稲村 泰伸	菅波 智之	福士 寛樹	宗形 俊二	西郷 徹夫
神野美智男	柴山 進	須藤 博	関 博之	佐藤 武彦	穴戸 啓光	池田 昭宏	佐藤 信行
宗田 昌史	長谷川清治	柳沼 徹	渡辺 洋司	藤田彌五兵衛	酒井 卓	酒井 卓夫	田中 邦宏
星 香里	佐藤 弘樹	東城 正幸	矢澤 良伸	廣瀬 敬彦	富田 孝志	平石 家治	山田 知彦
高橋 一浩	鈴木 基司	渡邊 彌	白根 一英	鷲森 淳	佐藤 祀男	高橋 千昭	中條 雅彦

加入のお願い

「福島県県民スポーツ振興協力会」は、「ふくしま国体」の成功を契機に設立され、11年目を迎えました。この協力は、生涯スポーツを推進し、県民の「だれもが、いつでも、どこでも」気軽にスポーツに親しむことができるようにするために、また、県の競技力の維持・向上を支援するために活用されています。

本協会の趣旨を御理解いただき、会員は年々増加しておりますが、より多くの方にご加入いただき本県のスポーツ振興を支えていただきますようお願いいたします。

加入期間.....入会后5年間 協力量額.....毎年度あたり1口1万円。1口以上何口でも可。
加入窓口.....財団法人福島県体育協会事務局 総務係 TEL024-521-1291

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館
http://www.u-kouiki.jp/USC/USCtop.html
E-mail utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680
FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター (富岡町教育支援センター内)

双葉郡富岡町大字小浜字中央464-4
http://www.u-kouiki.jp/HDSC/hamaSC.html
E-mail hama@u-kouiki.jp

TEL 0240-21-1711
FAX 0240-21-1712

中通り広域スポーツセンター (たまかかわ文化体育館内)

石川郡玉川村小高字大谷地71
http://www.u-kouiki.jp/NDSC/nakaSC.html
E-mail naka@u-kouiki.jp

TEL&FAX
0247-57-2585

会津広域スポーツセンター (会津若松市民ふれあいスポーツ広場 ふれあい体育館内)

会津若松市一箕町大字八幡字八幡2の1
http://www.u-kouiki.jp/ASC/ASC.html
E-mail aizu@u-kouiki.jp

TEL 0242-37-0588
FAX 0242-37-0933

編集後記

これまで本協会では、競技力の向上と生涯スポーツの普及・振興を大きな2本の柱として、本県スポーツ振興の一助となるよう努めてまいりました。また、スポーツにおける取り組みも新たな局面を迎え、本県でもキッズ、ジュニアからの一環指導による選手の育成に力を入れているところ。その中から、これから本県のスポーツシーンを賑わしてくれる、そんな選手が出てくるのではと期待されます。これからも、広く県民の皆様様にスポーツ情報を提供できるよう、努力してまいります。

本誌は、財団法人福島県スポーツ振興基金助成事業(スポーツ情報提供事業)により作成したものです。